

大磯町立中学校生徒代表者と教育長との懇談会 概要

- 1 日 時：平成 30 年 5 月 30 日（水）16:20～17:20
- 2 会 場：大磯町郷土資料館 研修室
- 3 参加者：野島教育長・大磯中学校生徒会本部役員 6 名（3 年生 5 名・2 年生 1 名）・国府中学校生徒会本部役員 7 名（3 年生 5 名・2 年生 2 名）

4 中学校給食に関する主な意見

【中学校給食（スクールランチ）を振り返って】

○スクールランチは、時々「えっ」と思うこともあったが、自分はけっこう美味しく食べていた。ニュースになって、お祭り騒ぎみたいになって、批判され続けてしまった。

○デリバリー給食については、1 年生の頃は「うわー」と思った時もあったけど、2 年生になって「これなら全然、大丈夫」と思っていた。献立にも工夫があって、「これならいい」と思っていたら、急に終わってしまった。とても残念。

○汁物の試行などが始まり、皆にも好評で、せっかくいい感じになっていたのに、急に給食が無くなってしまった。親も子どももアンケートを取ったり一生懸命に考えていたのに、いきなり終わってしまい、生徒の中には、意見が反映されず、とても悔しい気持ちがあった。

○スクールランチに関しては、町と中学校と保護者の間で、情報がうまく伝わっていなかったこと、共有ができていなかったことから崩れ始めたと思う。メディアに報道され始め、給食を否定する雰囲気になってしまい、スクールランチが好きな人まで雰囲気に飲まれるしかなかった。うまく対応していきなかったのに、間に合わなかった。

○デリバリー給食は、異物混入など、否定的な感じになってしまった。

○生徒が話し合いをしたのにもかかわらず、それが反映されず、終わってしまった。町だけで決めずに、生徒や学校の意見を反映させてほしい。

【現在の昼食の様子】

○スクールランチの時は完食する人が少なかったが、今は家庭弁当をほぼ全員が完食している。

○今は家庭弁当で好きなものだけを食べている。きちんと食べている子もいるが、菓子パン等を食べている子もいて、「それでいいのか」と思う。

○家庭弁当は野菜が少ない。乳製品・小魚（カルシウム）も少ないので、牛乳給食まで無くならないほうがよかった。

○家庭弁当になったときは、「やったー」と思ったけど、今では、食事に偏りがあったり、栄養が不十分であったりすると思う。

【今後の給食について】

○小学校の給食は美味しかったので、親子方式だと嬉しい。

○神奈川の給食実施率（の低さ）を見てびっくりした。やはり給食を食べたほうがいい。小学校の給食をまた食べたいので、親子方式がいい。

○アンケートでも、自校方式や親子方式の意見が多い。食べ慣れた味に安心感があると思う。デリバリー給食は少食の子もいて難しいが、感謝の心など、食から学ぶことも大切。大人になった時、マナーや、栄養のバランスを考えられるようになりたいので、給食については慎重に取り組んでほしい。

○自分は今、家庭弁当に満足しているが、両親が働いていたり大変な家もある。始めるなら中途半端に終わるのはやめてほしい。町全体の意見として満足できるような、安心できるようなものにしてほしい。